

記入日： 年 月 日

記入者： _____

「馬の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト

このチェックリストは、「馬の飼養管理に関する技術的な指針」のうち、アニマルウェルフェアの考え方を満たす飼養管理のために必要な項目である【実施が推奨される事項】を抜粋し、農場内での飼養管理がアニマルウェルフェアの考え方に対応しているかどうかを定期的にチェックしていただくために作成したものです。

現在、既に行っていれば「はい」に、行っていない場合は「いいえ」に印を付けてください。「いいえ」である項目については、改善のための検討等を行っていただき、馬にとって快適な状態の提供に向けて改善を進めていただくことが必要となります。

1つのチェック項目の中に複数の実施項目がある場合、全て既に行っている場合にのみ「はい」に印を付けてください。

なお、設問等の内容で御不明な点がある場合は、指針の本文を御参照ください。

第1 管理方法

1 観察・記録

チェック項目	はい	いいえ
① 1日1回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないかを確認していますか（例：馬の体調、採食の状態、損傷や跛行の発生状況、休息の状況、行動等）。	☐	☐
② 飼養管理に関する記録（日誌や報告書等）を毎日つけていますか（例：馬の健康状態、疾病及び事故の発生の有無並びにその原因、繁殖記録、飼料の給与量、気温等）。	☐	☐

2 馬の取扱い

チェック項目	はい	いいえ
① 馬に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避け、可能な限り丁寧に取扱っていますか。	☐	☐
② 馬を取り扱う際に道具を使用する場合、馬に痛みを与える可能性のあるものはやむを得ない場合を除き使用しないようにしていますか。※道具を使用しない場合はチェック不要	☐	☐

3 馬具（使用している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
① 馬具は、馬の損傷を予防するため、鋭利な角や突起がないよう適切に維持されていますか。	☐	☐
② ハミは、馬に損傷を与えない使役作業に応じた形状（まっすぐな棒状等）であり、常になめらかで、馬に合った大きさとし、清潔に保たれていますか。	☐	☐

4 蹄の管理

チェック項目	はい	いいえ
定期的な削蹄だけでなく、日常的にこまめに蹄を観察し、獣医師や装蹄師等とも相談しつつ、蹄を管理していますか。	☐	☐

5 分娩（実施している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
① 分娩区域は、馬に清潔で快適な環境（敷料、分娩房の提供、適切な気温、衛生等）となるよう、十分に清掃し清潔に保っていますか。	☐	☐
② 夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための新しい敷料等を提供していますか。	☐	☐
③ 分娩兆候が現れてからは、経過を観察し、必要に応じて獣医師の指導が受けられる体制になっていますか。	☐	☐
④ 分娩介助を分娩時間の短縮を目的として行わないようにしていますか。	☐	☐
⑤ 分娩後は、胎盤の排出を確認し、発熱等がないか注意していますか。	☐	☐
⑥ 分娩区域の温度管理や換気は、新生子馬に合わせて行っていますか。	☐	☐

6 母子分離及び離乳（実施している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
① 離乳は、栄養要求量を満たす飼料を自ら摂取できるようになってから行っていますか。	☐	☐
② 離乳は、外科的処置や長時間の移動等他のストレスを伴う処置と同時に行わないようにしていますか。	☐	☐
③ 離乳後の育成期間中は、同体格の馬で群飼していますか。※単飼している場合はチェック不要	☐	☐

7 去勢（実施している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
① 去勢は、可能な限り苦痛を生じさせない最適な方法並びに時期について獣医師の指導を求め、離乳時期と重ならないよう考慮する等、馬へのストレスの防止や感染症の予防に努めていますか。	☐	☐
② 去勢の実施後は、馬を注意深く観察し、化膿等が見られる場合、速やかに手当又は治療を行っていますか。	☐	☐

8 個体識別（実施している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
烙印を行う技術者は、合併症の兆候を識別できるよう、使用方法に関する知識を習得していますか。	☐	☐

9 疾病、事故等の措置

チェック項目	はい	いいえ
① 馬へのワクチン接種及び治療は、獣医師の指導の下、馬の痛みや恐れに配慮した手法により行っていますか。※獣医師にワクチン接種及び治療を依頼している場合は「はい」にチェック	☐	☐
② 疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある馬が確認された場合、可能な限り丁寧に移動させ、分離し、迅速に手当を行っていますか。	☐	☐
③ 疾病に罹患した馬又は損傷した馬について、治療、緊急出荷又は安楽死させるかどうかを決定するため、獣医師による速やかな診断を受けていますか。	☐	☐
④ 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者が馬を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っていますか。※安楽死を獣医師に依頼する場合は「はい」にチェック ※安楽死をさせたことがない場合はチェック不要	☐	☐

10 厩舎等の清掃・消毒

チェック項目	はい	いいえ
① 厩舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保っていますか。	☐	☐
② 排せつ物は適切に取り除き、敷料の追加又は交換により床を乾燥した状態に保っていますか。	☐	☐
③ 長期間、馬房が空く場合、敷料等を取り除き、徹底した清掃及び消毒を行っていますか。※長期間、馬房が空かない場合はチェック不要	☐	☐

11 農場内における防疫措置

チェック項目	はい	いいえ
① 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、その実施と定期的な見直しを行っていますか。また、日常から伝染性疾患の発生予防に必要な知識を習得していますか。	☐	☐
② 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時には速やかに駆除していますか。	☐	☐

12 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進

チェック項目	はい	いいえ
① アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識と技術を習得していますか。	☐	☐
② 馬の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保していますか。	☐	☐

第2 栄養

1 必要栄養量・飲水量

チェック項目	はい	いいえ
発育段階等に応じて飼料及び水を毎日過不足なく給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理していますか。	☐	☐

2 飼料・水の品質の確保

チェック項目	はい	いいえ
① 給餌及び給水の設備は、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮して、定期的に点検及び清掃を行っていますか。	☐	☐
② 水は、夏季の高温や冬季の凍結に注意していますか。	☐	☐
③ 飼料及び飼料原料は、その品質を確保し、適切に管理するとともに、馬の健康に悪影響を与える物質の有無について適宜検査していますか。※検査は購入先の添付書類等で確認した場合を含む。	☐	☐

3 給餌・給水方法

チェック項目	はい	いいえ
① 給餌及び給水の設備は、全ての馬が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるようにしていますか。	☐	☐
② 給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか。	☐	☐
③ 粗飼料は、可能な限り不断給餌とし、不断給餌できない場合、給餌回数を増加する等の工夫により採食時間を長く確保していますか。	☐	☐

4 初乳及び子馬の給餌（実施している場合はお答えください 該当しない□）

チェック項目	はい	いいえ
① 出生後、可能な限り早く良質な初乳を十分量飲ませていますか。	☐	☐
② 初乳は伝染性疾病に感染するおそれのないものを給与していますか。	☐	☐
③ 離乳後の正常な発育を促すため、生後2～4週間頃から消化の良い良質な固形飼料や乾草を給与していますか。	☐	☐

第3 厩舎

チェック項目	はい	いいえ
① 気象環境の変動によって厩舎内の温度及び湿度が大きく変化しないよう維持及び管理していますか。	☐	☐
② 野生動物、ネズミ、ハエ等の有害動物等の侵入や発生を抑制するよう管理していますか。	☐	☐
③ 日常の飼養管理や馬の観察が行いやすい構造になっていますか。	☐	☐
④ 厩舎の破損箇所によって馬が損傷しないよう修理を行うなどしていますか。	☐	☐

1 飼養方式

チェック項目	はい	いいえ
① 馬同士の闘争・競合が起きた際に、馬の損傷の発生がないか観察していますか。	☐	☐
② 舎飼いされている馬は屋内のみでの飼養を避け、長時間屋内に閉じ込めないようにしていますか。※舎飼いしていない場合はチェック不要	☐	☐
③ 屋外で繋ぐ場合、方向転換や歩行ができるようにし、ロープ等が絡むおそれのある障害物がない場所で、適切な水や飼料を提供し、必要であれば、日陰のある場所や収容場所に移動させていますか。※屋外で繋がらない場合はチェック不要	☐	☐
④ 牧柵やゲートは、構造的に堅固で、馬に損傷を与える特徴がないものを用いて、正しく設置・維持していますか。※牧柵やゲートを使用しない場合はチェック不要	☐	☐
⑤ 放牧場の泥濘化に注意していますか。※放牧場を使用しない場合はチェック不要	☐	☐

2 構造・設備

チェック項目	はい	いいえ
① 厩舎内に水が溜まらない構造となっていますか。	☐	☐
② 厩舎内は、馬が損傷しないよう、適切に維持していますか。	☐	☐
③ 舎飼いされる全ての馬に対し、敷料を提供し、清潔で乾燥した快適な横臥場所を提供していますか。	☐	☐

3 飼養空間

チェック項目	はい	いいえ
全ての馬に対し、同時に横臥し、容易に体の向きを変えることができる、乾いていて清潔で十分な大きさの、休息のための空間を与えていますか。	☐	☐

第4 厩舎の環境

1 熱環境

チェック項目	はい	いいえ
① 気温が高いときに馬が快適性を維持できるよう、暑熱対策を講じていますか。	☐	☐
② 厳寒期は保温対策を行っていますか。	☐	☐

2 換気

チェック項目	はい	いいえ
厩舎全体に、常に新鮮な空気を供給していますか。	☐	☐

3 照明

チェック項目	はい	いいえ
馬の正常な行動や飼養者等の日常作業に支障が生じないよう、適切な照明設備等を設置していますか。	☐	☐

4 騒音

チェック項目	はい	いいえ
厩舎内外の設備等による騒音や突然の大きな騒音は、可能な限り小さくするように、設置及び維持・運用していますか。	☐	☐

第5 アニマルウェルフェアの状態確認等

1 アニマルウェルフェアの状態確認

チェック項目	はい	いいえ
本チェックシートを用いて定期的に現状の飼養管理を確認していますか。	☐	☐

2 設備の点検・管理

チェック項目	はい	いいえ
設備が正常に作動しているか少なくとも1日1回点検し、故障を発見した場合、迅速に修理していますか。	☐	☐

3 緊急時の対応

チェック項目	はい	いいえ
① 自然災害等に備えるため、緊急時計画又は危機管理マニュアル等を整備し、習熟するとともに、全ての関係者と共有していますか。	☐	☐
② 警報や発電機等の予備システムは、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検していますか。※緊急時に予備システム等が必要であるが整備していない場合は「いいえ」にチェック ※予備システム等が不要な場合はチェック不要	☐	☐
③ 自然災害等の影響により、馬や厩舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっていますか。	☐	☐

馬にとって快適な状態であるかを確認するためのチェックリスト

このチェックリストは、馬が快適な状態であるかを確認するための指標です。「馬の飼養管理に関する技術的な指針に関するチェックリスト」を記述した際に、併せてチェックしてください。そのほか、飼養環境が変化した際など、適宜チェックしてください。「はい」の項目がある場合は、獣医師や専門家等に意見を求めるとともに、日常の管理方法や栄養、厩舎等に問題がないかを再確認しましょう。

第1 餌・水

チェック項目	はい	いいえ
① 極端にボディコンディションが悪い馬（太りすぎ、痩せすぎ）がいる。	☐	☐
② 摂食量が著しく落ちている馬や急激に体重が変化した馬がいる。	☐	☐
③ 消化器疾患（疝痛、下痢等）の兆候のある馬が増えている。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、給餌・給水方法、子馬であれば初乳給与、離乳時期等の再確認が必要です。

第2 恐怖

チェック項目	はい	いいえ
① 攻撃行動が激しい馬がいる。	☐	☐
② 管理者等への反応が著しく過度な馬や、管理時の取扱いの際に抵抗する馬がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、馬の取扱方法、飼養方法等の再確認が必要です。

第3 物理的環境

チェック項目	はい	いいえ
① 通常と異なる呼吸数の増加や異常な発汗が見られる馬がいる。	☐	☐
② 体が震えている馬がいる。	☐	☐
③ 体が著しく汚れている馬や、脱毛、被毛粗剛、被毛の色の異状等が見られる馬がいる。	☐	☐
④ 移動中に足を滑らせている馬がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、暑熱・寒冷対策の再確認や換気設備、厩舎施設の点検・整備等が必要です。

第4 苦痛・傷害・疾病

チェック項目	はい	いいえ
① 疾病や損傷が見られる馬が増えている。	☐	☐
② 咳をし、又は呼吸に異状が見られる馬が増えている。	☐	☐
③ 跛行している（正常な歩行ができない）馬が多くいる。	☐	☐
④ 去勢等の処置後に合併症を引き起こしている馬がいる。	☐	☐
⑤ 寄生虫やハエ等の発生が多く見られる。	☐	☐

チェック項目	はい	いいえ
⑥ 難産・死産の発生が増えている。	☐	☐
⑦ 繁殖成績（受胎率・流産率等）が著しく悪い馬が増えている。	☐	☐
⑧ 廃用にする馬や死亡する馬が増えている。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、厩舎施設の点検・整備、外科的処置の実施方法等の再確認が必要です。

第5 行動

チェック項目	はい	いいえ
① 自由に起立・横臥・身繕いができない馬がいる。	☐	☐
② 異常な行動（熊癖・さく癖など）を起こしている馬がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、床の状態、飼養空間、係留状態等の再確認が必要です。